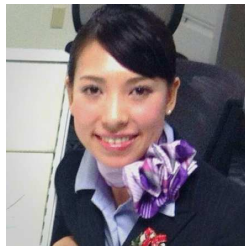


# ANA客室乗務員を 正社員化する背景



**全日空(ANA)が  
2014年度以降に入社する客室乗務員(キャビンアテンダント、CA)を、  
契約社員ではなく当初から正社員として採用すると発表しました。**

**背景には優秀な人材の獲得競争があります。  
CA志望者にとっては朗報です。**

**今日取り上げるのは、1面の「全日空、客室乗務員を正社員採用/  
来年度から人材確保狙い転換」です。**

**記事の内容は——  
ANAは1995年度から、人件費削減のためCAをすべて契約社員として採用し、  
入社3年後に正社員化する方式をとってきたが、  
来年度以降入社するCAは正社員として採用することにした。**

**不安定な契約社員としての入社を嫌って内定を断る学生もおり、  
ANAは「海外も含む航空会社や新幹線などの競争が激しく優秀な人材を確保したい。  
先手を打って採用環境を整える」としている。**

**正社員化すると年金や退職金などの人件費が増えるが、  
離職率が下がれば採用を押さえられ社員教育の経費も減るため、  
大幅な経費増にはならないと判断した。**

**2014年度は450人の新卒採用を予定している。**